

TECHNICAL DATA

塗装仕様	内装タイル目地用プレミックスモルタル
製品名	KSメチ 内装用

第2版 作成日：2023年 4月 1日



菊水化学工業株式会社

施工仕様書

塗装仕様：内装タイル目地用プレミックスモルタル

製品名：KSメヂ 内装用

素地：コンクリート・セメントモルタル 等

部位：内外装陶磁器質タイル張り工事に適用する。

1. 工程表

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	最終養生	標準施工面積
目地詰め	KSメヂ 内装用 主材：10kg 清水：約3.5L	ゴムこて 等	1	1週間以上	30m ² /袋 (標準施工面は、 タイルの種類、 目地幅、塗り厚に より異なります。)

練り混ぜ後の可使用時間：1時間以内(20℃)

注1 施工用具・条件は代表的なものです。

注2 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

注3 所要量の確認は塗見本との比較または単位面積当たりの使用量で確認してください。

注4 目地幅3mm以下に適用します。

2. 材料荷姿

内装タイル目地用プレミックスモルタル

: KSメヂ 内装用

NET : 10kg/袋

3. 施工要領

3-1. 施工適用について

- 目地幅3mm以下に適用します。
- 目地詰めは、タイル張付け工程から24時間以上経過した後に行ってください。

3-2. 材料の混ぜ合わせ

- 製品は空練りを行った後、練り混ぜを行ってください。
- 製品はミキサーでダマが残らないように十分に練り混ぜてください。
- 練り水及び希釈水は必ず清水を使用してください。
- 練り混ぜ後、可使時間以内に使い切ってください。また、可使時間は温度、希釈によって変わりますので、練り混ぜ後はなるべく早く使い切ってください。
- 可使時間の過ぎた材料を、練り直して再度使用しないでください。
- 練り足し、水を加えての練り戻しはしないでください。
- 既調合タイプの製品に現場で、セメント、砂等の指定材料以外を加えないでください。
- 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。

3-3. 施工

- 塗り目地は、ゴムこてを用いてタイル表面から目地にモルタルを塗り込みます。ただし、目地の形状は適当な沈み目地としてください。
- 特殊な面状やタイルの吸水率が高い場合は、目地モルタルによる汚れの除去が難しいため、適切な目地詰めの方法を検討してください。
- 伸縮調整目地には塗り込まないでください。
- 目地詰めはタイルによく密着するようにコテ押さえを十分に行ってください。縦目地・横目地の交わる箇所に穴ができたり、タイル離れのできないように注意してください。
- スポンジ等で余分な目地モルタルを除去してください。
- 工事完了（最終養生）後、タイル表面を水洗いし、汚れが残らないように清掃してください。やむを得ず清掃に酸類を用いる場合は、タイル面を水湿した後、30倍に希釈した工業用塩酸で酸洗いを行ってください。酸洗い後、直ちに水洗いを繰り返して目地部分に酸分が残らないように注意してください。
- 酸洗いの際は、必ず隣接する塗装面にマスキングを行って、洗浄用の酸がかからないように注意してください。

成分表

内装タイル目地用プレミックスモルタル

: KSメチ 内装用

内	容	重量 (%)
白色ポルトランドセメント		50.9
ドロマイトプラスター		15.3
体質顔料		30.5
添加剤(防水剤、保水剤、防カビ剤)		3.3
着色顔料		適宜
	計	100.0

性能試験成績書

塗装仕様	内装タイル目地用プレミックスモルタル			
製品名	KSメチ 内装用			
供試材料	KSメチ 内装用			
試験項目				結果
曲げ強さ (N/mm ²)	JIS R 5201に準拠			3.8
圧縮強さ (N/mm ²)	JIS R 5201に準拠			18.3
吸水試験	JIS A 1404に準拠	1時間	吸水量 (g)	6.91
			吸水比	0.11
		5時間	吸水量 (g)	10.50
			吸水比	0.16
		24時間	吸水量 (g)	16.62
			吸水比	0.25
長さ変化率 (%)	JIS A 1129に準拠 (ダイヤルゲージ法)	養生期間	1週	-0.069
			4週	-0.100
			8週	-0.138
—以下余白—				

* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承下さい。

一般的な注意事項

《下地》

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分に行ない、含水率 10%以下、pH10以下で施工してください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。

《環境》

- 夏期など、特に気温が高い場合や下地の吸い込みが著しい場合はドライアウトの原因となります。適当な水湿し、または下塗りを行ってください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響（高湿度、結露等）を受けた場合、塗膜表面が白化することがあります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

《施工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 表面に白華が発生した場合はブラシ等により除去してから次工程の作業を行ってください。
- 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
- 溶剤形の下塗りを取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。

《保管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 製品は、湿気に注意し、水がかりを避け、パレットの上に置き、なるべく乾燥した屋内に保管してください。

安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート：旧MSDS)を参照してください。

- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 火気、スパーク等の発火源があると、粉じん爆発の恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 取扱い中は、粉じんがたたないように注意し、また、取扱い後は密閉した容器に保管してください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあります。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようにしてください。